

平成 28 年度第 1 回石狩市厚田区地域協議会

【日 時】 平成 28 年 4 月 27 日（水） 18：30 ～ 20：00

【場 所】 望来コミュニティーセンター

【出席者】 11 名（15 人中）

役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠
会長	佐 藤 勝 彦	○	委員	小 山 玲 子	○	委員	中 井 健 太	
副会長	渡 邊 教 円	○	委員	今 光 江		委員	平 賀 敏 和	○
委員	大 内 さつき	○	委員	坂 本 悌 生	○	委員	前 田 和 也	
委員	大 黒 利 勝	○	委員	柴 田 志寿子	○	委員	築 田 敏 彦	○
委員	小笠原 英 史	○	委員	柴 田 肇	○	委員	吉 田 美 香	

※正副会長を除き、あいうえお順

本 庁 ～ 総務課危機管理担当 佐藤課長・松原主任。

スポーツ健康課 村谷課長。

企画経済部渉外調整担当 松田部長・中西課長・稲垣主査・吉田アドバイザー。

支 所 ～ 西田支所長・熊谷課長

事務局 ～ 高田課長・相原主幹・佐藤主査・渡部主査・中村主任

(地域振興課)

地域おこし協力隊 ～ 沼倉隊員

【傍聴者】 2名

【次 第】 1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 情報交流（リラックス タイム）

4. 報告事項

（1）北海道が公表した地震被害想定調査結果について

（2）石狩市過疎地域自立促進市町村計画について

5. 協議事項

6. その他

・厚田支所の人事異動について

・道の駅建設に向けた動きについて

・その他

7. 閉会

1. 開会

【 厚）地域振興課 高田課長 】

皆さんどうもお晩でございます。開会の前にですね、今日所要で前田委員、それから吉田美香委員、中井委員が欠席するという連絡を受けていますので、ご報告いたします。

それでは平成28年度第1回厚田区地域協議会を開会致します。

佐藤会長ご挨拶の方、よろしくお願い致します。

2. 会長あいさつ

【 佐藤会長 】

お晩でございます。結構日が長くなりまして、みなさんいつもだったら冬の間は早いうちから会合あったんですけど、いまはなにかまだ昼のような感じで、こんな早い時間にやっていいのかなって戸惑うくらい日が長くなりました。こんなすてきな厚田に住んでいながら、実は九州では大変な地震がございました。やはり日本はこういう自然災害というか、地震の起きる列島と言われているとおり、九州だから対岸の火事、対岸の地震とは言えないわけですね。熊本のみなさんにお見舞いすると同時に、やっぱり私たちも千島火山帯と言う上に住んでいるものですから、いつ地震が来るか分からない。

厚田区も平成22年・23年に防災計画が自治会を中心にしながら作りました。あの時も申し上げたんですけど、作った段階でスタートなんです。作ってこれで出来たからと言って安心してしまったら、災害がいつ起きるか分からない。忘れたところにやってくるのではなくて、忘れないうちから災害が来るんですけれども、私たちの意識の中にそれがないと大きな本当は震災の災害なんですけれども、それにプラス人災が伴うわけですね。私たちの意識にそれがあればスムーズに貴重な大切な命を守ることができるのに、ということがよくあります。

ですから私たちは今回の熊本の地震も含めまして、あれはいいテキストなんです、実は。教科書なんです。ですから教科書を私たちは参考にさせて頂いて、自分達のところで起きたときにはどうしようかということを中心に頭の中に意識しておく。そうすると災害が最小限度に抑えられる。私はそう思っています。

今日もですね報告の中で本庁からきて頂きまして、北海道が公表した地震被害想定調査の結果もあります。ですからそういうところをお聞きしながらですね、自分のところで起きたらどうしようか、ということをしてそれぞれの人が意識して頂きたい、というふうに、今回の熊本の地震も教訓にしながらですね、テキストにしながら、私はそういう風に思いました。

今日はですね協議事項はございません。報告事項が中心となりますが重要な事項が揃っていますので、しっかり皆さんお聞きいただいて、当然ご質問があると思います。そういうものを含めて、また次回の協議会で議論をしていきたいなというふうに、思っています。今日も短時間ではありますが、よろしくお願いしたいと思います。

3. 情報交流（リラックス タイム）

4. 報告事項

（1）北海道が公表した地震被害想定調査結果について

【 佐藤会長 】

第一点目の「北海道が公表した地震被害想定調査結果について」という事で、本庁から来て頂いていますので、説明よろしく願います。

【 総務課危機管理担当 佐藤課長 】

市役所総務課危機管理担当課長の佐藤でございます。本日より願います。

ご紹介ありました、北海道防災会議と石狩消防からお知らせを挟んでいますので、それもお伝えしたいと思っています。

今回ご紹介している地震被害想定ですが、3月末に北海道が石狩市を含む地域の地震被害想定調査の結果を公表しましたので、資料を基にご説明にあがりました。

調査の経緯ですが、北海道は地震ですとか、そういった災害に対する減災の数値目標、それから発生時期、それから対策などですね、地域目標として設定するために平成24年度から目標設定の基礎となる災害想定調査を行っているものです。道内では既に平成25・26年度に危険度の高い太平洋側について既に結果の想定を公表しておりまして、今回は日本海沿岸、今後オホーツク海沿岸などを順次公表しまして、全体が揃った段

階で北海道の防災計画に反映していくというものでございます。

早速石狩市の部分での被害想定ですが、石狩市は旧石狩、それから厚田区、それから浜益区、という大きな区分があります。その中で最も大きな被害があるのはどこか、1 ページの資料の中に表として載せている部分です。札幌近くの断層の影響で発生する地震でございまして、旧石狩市地域では震度 6.6 と書いてありますが、これは一般的には震度 7。厚田区では一般的な表現にしますと震度 6 弱、浜益区では震度 5 弱ということで、死者 20 名、重軽傷 53 人という形で公表されているものでございます。

厚田区ではどうか、という部分でございまして、3 ページ目を開いて頂きたいと思います。地震想定につきましては、今回石狩市といった部分でございしても、旧石狩市、それから厚田区、浜益区とそれぞれについて載せます。またどういった地震で影響するのかといった部分についてもですね、日本海沿岸に影響を与えられ、22 の地震の 49 の 9 の断層について、ですから石狩でも、厚田でも、浜益でも 49 通りをそれぞれ計算した結果、そのうち最大のものを今回紹介しています。

厚田区についての部分でございまして、3 ページ目の資料でいきますと右側に資料がございまして。ちょっと小さいですが、真ん中に厚田区で被害が最も大きい地震ということで書いてございまして、そのときには当別断層といったところの地震がやはり最も影響が大きい。そのときの震度としては、旧石狩市では震度 6.4、一般的には 6 強ですね。厚田区も同じく 6 強、それから浜益区では 6 弱という数字になっています。

こういった時にどういった被害になるのか、というところでございまして、被害の想定については建物被害が最大となるのは夕方 6 時ですね。これに地震が発生した場合ということで紹介しています。例えば家が全壊となるような場合、これを厚田で大きな地震が発生した場合はどうなるかという、表の左上に全壊といった表がございまして、下から 2 行目に厚田最大という表がございまして。

これはこの地震が発生した場合の旧石狩では 47 棟が全壊。厚田区では 28 棟。浜益区では計算上では 1 に満たないが若干 0. なんぼかという数字となっています。合計 3 地区合わせると 75 棟、という形で見ていくことが出来ます。そういったことで、今回こういった形で北海道のほうで発表している部分でございまして。今回、あらゆる可能性ですとか、新しい知見を踏まえると、以前ですとこういった想定ベースが挙がってこなかったようなものも、どんどん新しい考え方から生まれてきている。そういった可能性もありますよといったことで皆さんの方にお伝えしているものでございます。

今後市といたしましては、こういった部分での被害の算定方法ですとか、考え方ですとか、こういったものについて十分検証して、今後の防災計画とか、(防災) ガイドですとか、そういった部分に活用していきたいと考えています。以上でございまして。

次に消防からのお知らせについて、松原のほうからお知らせします。

【 総務課危機管理担当 松原 】

総務課危機管理担当の松原と言います。どうぞよろしくお願いいたします。

石狩消防署からのお知らせを 1 件預かっています。A4 ものの石狩消防署からのお知らせというチラシをご覧ください。

現在ですね、各消防団の分団詰め所に設置されている消防サイレンは、消防団の召集や、津波警報などの発表に利用するものとして、これまで運用されてきました。

地域によっては、特にお昼のサイレンに、毎日正午に「ウー」という音がなっているので印象があると思います。このサイレンにつきましては、電波法という法律の改正に伴いまして、今年の 6 月 1 日から鳴らなくなる、ということでご理解のほどをお願いします、とのことで石狩消防署から言付けを預かりかっています。詳細については、石狩消防署のほうへ問い合わせをお願いしますということで連絡を承っておりますので、報告させていただきます。以上です。

【 佐藤会長 】

ありがとうございます。

ご報告ですからご意見というか、何か質問があればお願いします。

ちょっと説明の途中でここがちょっと分かりにくいかな、分からないかな、もしございましたらどうぞ。

【 柴田肇委員 】

陸のほうでの断層のずれにおける災害のシミュレーションですね。これが海のほうの断層で、もしずれが起きたりして津波を引き起こした場合のシミュレーションは作らないのですか。

【 総務課危機管理担当 佐藤課長 】

津波のシミュレーションにつきましても、これについては北海道のほうでやってございます。

まずは津波と地震は別の形で検討してまして、津波につきまして平成 26 年の 8 月にまずは国が日本海沿岸

で起こり得る最大の津波高を公表しました。現在はその数字を受けまして、北海道がそれが陸地に迫った時に、どういった形で陸地に入ってくるかという、浸水想定というのを検討しています。その結果についても平成27年度中に発表し、皆さんにお知らせすると、北海道から聞いていましたが、これにつきましては平成28年度のうちに北海道のほうから公表されると聞いています。

それについては、今回陸地については当別断層でしたけども、津波については一番大きいといった部分については、今の段階については留萌沖ですとか、そういったほうの断層が震源になる、というような形で、それぞれ最大になったときの状況について考えるということでございます。

【佐藤会長】

よろしいでしょうか。

その他、質問ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

はい。それではこのような想定をしていますので、今日ご覧になって頂いて、地震の発生・災害はいつおこるかわかりませんので、冬期間とか、あるいは朝早くとか夜中とかありますので、この辺を先ほど言いましたように意識をしていただきたいと思います。

それでは第2点目の「石狩市過疎地域自立促進市町村計画について」の報告に移らせて頂きます。

厚田支所地域振興課相原主幹、お願いします。

(2) 石狩市過疎地域自立促進市町村計画について

【厚田支所地域振興課相原主幹】

皆様お晩でございます。相原でございます。今日はよろしくお願い致します。

皆様のお手元に「過疎地域自立促進市町村計画」をお配りしてあります。これまでも何度かこれを見たなあと思われている方もいると思いますが、これまで皆様の方にお配りしてきたものは、この後ろにかっこ案とついていたものです。今回のものが国から承認をもらいまして、正式に3月30日に市のホームページに公開されて、案が取れた形となっていて、企画のほうから正式版を皆さんのところにお配りしてほしいということで、お配りしています。

これは予定通りですね、これまで話し合われた内容とかが反映させている部分が多いかと思っておりますので、お持ちの資料とほぼ変わらないと思いますが、正式に案が取れたということでこれをご覧頂きたいと思っております。

先ほど申し上げたとおりホームページでも公開していますので、どなたかに聞かれた際にはホームページにもありますよ、と一言添えて頂ければと思います。以上です。

【佐藤会長】

はい。ありがとうございます。この過疎地域自立促進市町村計画というのは、何度も皆様にご提示して、ご意見も頂いて、そして最終的にまとまったものをお配りしたいものです。

これはもう国の認可を取ったのですね。

これが28年度から32年度にかけてこの計画が実行されていくということになりますので、引き続きこの冊子にご注目して頂きたいなと思います。それぞれの地域、またそれぞれの委員の皆さんの興味関心のある項目があると思いますので、そのあたりを検討して頂いて、そして過疎地自立を元気に促進するためのご提案をして頂きたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

この促進計画最終盤について、何かご意見がありましたら委員の皆さんからお聞きしたいと思いますがいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。これをお持ちいただいて平成32年まで手の届くところにおいて頂きたいと思っております。

それでは、次の報告事項のその他「厚田支所の人事異動」について移りたいと思っております。

5. その他

・厚田支所の人事異動について報告

*厚田支所地域振興課相原主幹より厚田支所の人事異動について報告。

【佐藤会長】

それではその他の2点目「道の駅建設にむけた動き」について、高田課長お願いします。

・道の駅建設にむけた動きについて

【厚田支所地域振興課高田課長】

2つ目の道の駅の建設に向けた動きということで、今日はですね、本庁のほうから松田部長含めまして4名の

方が来ています。実は昨年までは2名の体制でしたが、この4月から2名増えたということで、その紹介も含めて、今日図面もありますので、松田部長の方から説明をさせていただきたいと思いますので、お願いします。

【企画経済部渉外調整担当 松田部長】

改めてまして松田です。本年もよろしくお願いします。

いよいよ道の駅オープンが2年後になりました。厚田支所、そして地域協の皆さんとともに鋭意検討して準備をしているところですけど、市役所のほうも体制を少し強化して2名のところが4名になりました。新たに中西課長が来ています。10年前合併した後で地域活力政策室というところで、私含めて厚田、浜益で動いてきましたけども、奇しくもそのときに石狩担当で動いていた人間なので、よろしくお願いしますと思います。

資料の説明のところでもまた本人から挨拶の上説明させていただきます。

もう一人、非常勤のほうで吉田さん、今般支所のほうで作って頂いている道の駅だよりも経歴など紹介されていますが、私ども行政だけではなかなか立ち行かない部分もございまして、民間の経験を持った方に力添えを頂いて、2年後のオープンに向けて準備をしていきたいということで、昨年から引き継ぎの稲垣を含め、渉外調整担当としては4名で今年やって参ります。

道の駅便りの中でも少し書いてありますが、5月中旬には厚田支所のほうに事務所を設けます。保健センターの2階に事務所を準備していますけれども、5月中旬からは私どもも厚田に本体を移して準備をしていきたいと思っておりますので、今後さらにいろんな形で懇ろに話が出来ると思っておりますので、よろしくお願い致します。

それでは道の駅の建設に関した動きとして、今般スポーツ健康課のほうでスポーツセンターの廃止を含めて第3駐車場の整備をするということと、今現在の平面図案、それから概観の検討状況、それから吉田さんがお越しいただいているので、道の駅をどんな形で地域で運営していくのかという考え方等について、順次ご説明させていただきます。よろしくお願い致します。

【スポーツ健康課 村谷課長】

お晩でございます。スポーツ健康課の村谷と申します。

私のほうからは、皆様にお配りをさせていただきました厚田スポーツセンターの廃止の検討につきまして（概要）、それと平面図のほうを説明させていただきたいと思っております。

建設予定の道の駅については、平成27年4月に国土交通省の重点道の駅に選定されまして、石狩市では当該施設に関わる道の駅等整備事業等、進められる地域創生の柱に位置づけまして、景観に優れた厚田公園を中心に一体整備をし、平成30年春のオープンに向けて現在準備を進めていることはご承知の通りでございます。

道の駅の整備事業を進める中で、地域協議会が厚田情報拠点整備事業のパブリックコメントにおいて、十分な駐車場スペースを確保するべきとの意見を頂いたことから、将来的な需要に備えまして、隣接する公用地の活用を検討した結果、厚田スポーツ施設用地を活用する以外に無い、というふうに考えまして、道の駅を最大限活かすためにも、やむを得ず厚田スポーツセンター、体育館・プールを廃止しまして、道の駅駐車場を建設することにつきまして、利用者団体をはじめ、地域住民への意見交換会や、パブリックコメントなどの市民参加手続きを行いたいと考えてございます。

第一回目の意見交換については、本年5月19日木曜日に午後6時30分から厚田保健センター2階の多目的ホールにおいて、厚田区の住民に事情説明、および意見交換会を開催しようと思っております。

また、第2回目の意見交換会については、5月20日金曜日の午後6時30分から、浜益区コミュニティーセンターさらりの1階の多目的ホールにおいて、浜益区内の住民に事情説明および意見交換会を開催するとともに、パブリックコメントを5月1日から31日に実施することとしてございます。

厚田スポーツセンターの廃止の検討については、パブリックコメントや各地域での説明会等市民参加手続きを経まして、皆様の意見を集約し庁内で検討した上で、当該施設の廃止手続き・解体等の判断をしたいと考えてございます。

また、お手持ちに配付してあります2番目の施設概要につきましては、記載の通りでございます、3番目の利用状況については、3年間の利用状況を記載させていただいております。

また平面図については、道の駅あったかあいロード計画案当該施設の解体をイメージした駐車場を示したものでございます。私からは以上でございます。

【企画経済部渉外調整担当 中西課長】

改めまして、企画経済部に4月から渉外調整担当ということで配属されました中西と申します。よろしくお願い致します。

厚田道の駅の建設につきまして、多少説明をさせていただきます。

いままでの話しにあったように30年の春にオープンということで、準備を進めてきているところでございます。ただいま建物基本設計をやっております、ほぼ終わりの段階に来ております。今後詳細の実施設設計を行いまして、今年度揃ったですね、先ほどの建物を含めまして、造成工事に着手しまして、来年度建物を建設して、30

年度の春にオープンを迎えたい、というふうに進めております。

本日建物の図面をご用意してお配りをさせて頂いています。これが最終確定ではございませんが、概ねほぼこの形で行ければなという風に考えているところでございます。建物についてもいろいろなご意見をこれまでも頂いてきた、という中で現在の配置が適当ではないかと、というところでここまでできていると、こういう状況だと考えております。

まず一枚目の一階の部分から説明をさせて頂きますと、当初の案では真ん中にトイレを設けまして、両サイドに商業スペースを配していたところでございますが、今回トイレを図面で言うと右手奥側に移しまして、商業スペースを一体的に運営したほうがより効果が出るのではないかと、という形で配置をしています。その中にひとつテイクアウトということで飲食の提供を出来るようなブースをひとつ設けているところでございます。

2枚目の2階に移りまして、エレベーター・エスカレーター・階段を上がったところに3軒ほどのテイクアウトということで、飲食の提供できるブースを設けております。こちらで飲食を提供しつつ、そのフロアには飲食スペースということでも設けた中で、眺望を楽しみながら飲食を楽しんで頂く、さらには交流をして頂くというスペースを設けています。さらには今般資料館の廃止ということで、こちらの施設機能を活かすという形のフロア設計をしております。

3枚目の3階になりますが、こちらにつきましてはルーフバルコニーを設けまして、更なる眺望を楽しんで頂けるというスペースを考えています。さらにここから裏の公園スペースにもこのまま出られるという形となっているところでございます。その他、外の外観のイメージですが、これも決してまだ決定しているものではございません。これまでいくつか候補をご紹介させて頂いてきたところでございますが、また複数を検討した中で、また詳細を決定していきたいという風に考えています。

こちら道の駅の運営につきましては、今後第3セクターという形で新たな会社を作りまして、この道の駅という施設、さらにはその周辺施設を一体となって運営を進めていくという形で考えております。建物の施設につきましては、概ね形が見えてきたというところでございまして、今後につきましてはこの施設を皆様にどう活かして頂くか、活用して頂くかということをもたえていく段階に来たのかな、という風に考えています。

この道の駅の会社を中心とした今後の展開の考え方につきまして、吉田アドバイザーから説明をさせて頂きます。

【企画経済部渉外調整担当アドバイザー 吉田氏】

改めまして、この4月から企画経済部の渉外調整担当の地域振興アドバイザーという事で入社ということになりました吉田と申します。よろしくお願い致します。

お手元に道の駅便りということで、たいそう人相の悪い写真とともにいろいろ書いてありますが、決して人相は悪いのですが、もともと生まれつきなわけで申し訳ありません。話しやすい人間かと思っておりますので、いろいろと皆様とご相談をしながら、これから事業を進めていきたいと考えています。

今、道の駅の運営について少し説明をということでございましたので、簡単に話をさせていただきと思います。

現在何をやっているかと申しますと、4月に私こちらに来まして、道の駅の運営をする会社がどういう会社、何をを目指すのか、具体的にその目指すところに向けて具体的に何をやっていくのか、いわゆる事業計画を策定しています。事業計画の中には、収支の状況がどういう風に推移するのか、という部分も含まれています。そういった部分を、今作成をしている段階でございます。従いまして、これで出来ましたという風な形でお渡しできず、私的には大変恐縮でございますが、ざっくりした部分のお話をさせて頂きたいなと思います。

新しい会社というものは、事業の柱が3つほどございます。

一つ目は、先ほどお話がありました道の駅本体とそれに付随する施設。公園だとかですね。

そういったところの管理をする仕事、というのが一つ目になります。

2番目は、いわゆる道の駅の事業会社が直営で販売店舗を運営するということと、後先ほど見取り図にございましたけれども、いくつかテナントさんに入って頂いて、飲食等提供して頂くという風に考えておりますけれども、その手法というのを考えていくのが二つ目になります。

三つ目は、今日お手元にお渡ししていますとおり、地域の皆様といろんなことをやっていこうという部分が、会社の三つ目の大きな柱になります。どういったことをやっていくのかということになりますと、例えば地域の産品をブランド化していくとか、あるいは新たな商品開発、そういった部分とか、後はよく言われる6次産業化の推進だとか、これのお手伝いですね。後は着地型観光商品の造成販売、こういったことを手がけていきたいと考えています。着地型観光商品とは何かというと、簡単に申し上げると、農家で収穫体験をして、農家民泊をやってみようとか、あるいは漁師さんのお手伝いで網外しをやってみようだとか、こういった部分が着地型観光商品となります。道内でいくつかの町なりで実際行われている部分でございます。これは本当に地元の皆さんにご協力を得ないと出来ないのかなという風に考えています。その他いろいろ地元の皆さんに、こだわり隊員も含めてPR活動をして頂いて、厚田のものは良いんだ、ものは美味しい、楽しいところだ、そしてまた厚田に行ってみよう、という風に感じて頂けることをどんどん実現化していこうかな、というふうに考えています。

これまでは協議会では近説遠来、近くを喜び、遠くのもの来たるということだと思っわけですが、こことです
ね、これから目指す機能、道の駅の運営会社はおそらく同じということでございます。言葉を変えて言えば、訪
れてよし住んでよし、そういった街づくりをやっていこうということがこの会社の役割にもなってくるかなとい
うふうに思っています。

お手元のビジネスプラン、わかりやすいように、いわゆる事業会社と地域の皆さん、そしていわゆるお客様と
の関係が、どうい関係になるかという部分を書かさせて頂いています。簡単に申し上げますと、事業会社は地
域の皆さんと、地域にやってくるであろうお客様のつなぎ手です。道の駅で先ほど、豚まんがあるよと、ちなみ
に一般的に基本的にオール石狩、石狩以外のものをおくつもりは余りありません。あえて言うならば、ひよっ
したら増毛のものは少し置いてあるかもしれません。当別のものはあるかもしれません。基本的には石狩産しか
置かない、ということでございます。従いまして、道内でどこか道の駅で裏をひっくり返すとぜんぜん違うところ
のものがあつたとか、あるいは白い恋人が置いてあるとか、こういったことは無い、ということになろうかと
思います。

そういったまちの産品をお客様に想いを届ける。物を売るといよりは、想いを売ると思っていますけれども。
そういった形でお客様に提供しながら、お客様から評判を聞いて、それをまた生産者の方にフィードバックする。
そういった関係だとか、いわゆる地域の皆さんがお客様と、道の駅あるいはその中にある資料室なんかで交流す
る機会を提供する。そういった先ほどちょっとお話しした旅行商品を通じて、厚田のよさを地元の皆さんからお客
様にお伝えして、お客様は厚田のよさを感じて頂き、また来ていただく、あるいは戻ってから厚田というのは良
いところだから、是非あなた行きなさい、という風にですね伝えて行っ頂く。こういったような関係を築いて
いけたらいいなと思っていますし、それを基本にしながら会社というものを一つ、運営していきたいなあ、と思
います。

先ほど部長のほうから話しありましたとおり、ゴールデンウィーク明けにはですね、厚田のほうに常駐する形
になります。支所のほうから、実は大層立派なソファースーツを用意して頂きました。当然私どものほうから皆
様のほうにお伺いしていろいろ話を伺いたいと思っていますし、是非気軽に来ていただいとお話をさせていただ
ける場をセッティングしていますので、今後ともよろしくお願ひしたいなと思っております。

【 佐藤会長 】

はい。ありがとうございます。

道の駅の建設に向けた動きについて、今説明をいただきました。

昨年までは、松田部長を始め稲垣主査が一所懸命建設、建物をやっきました。また2名増えて4人体制になり
ました。皆様のお手元にありますとおり、設計図、そして建物の大体の外観図、構想、こういうハードは大体出
来上がってききましたので、今度はソフトの部分ですね。どうやって人にここに来て頂いて、そしてどんなサー
ビスが出来るか、今度はまさにソフト。そのソフトの充実のために一緒に来ていただける、ということになりま
したので、是非いろいろな機会で、この道の駅のソフトの構想をですね、皆さんたちと一緒に練りに練ってですね、
平成30年のゴールデンウィークあたりにですね、すばらしいハードとソフトの揃った道の駅オープン可能であ
ろうという風に期待されて、あるいはされるわけですね。

ということで地域協議会の委員の皆様達にも、尚一層の30年に向けて皆さん方のご協力を得たい、という風
に思っていますので、よろしくお願ひ致します。

今のところのご説明いただきました道の駅の関係について、皆様方から何かご質問ございませんか。よろしい
でしょうか。まだまだこれは続いてまいりますので、地域協議会としてなるべく時間を見つけて、皆様達にご報
告させて頂きたいと思っていますので、どうぞ高い関心をお持ちいただければ、と思います。

【 厚田支所地域振興課 高田課長 】

ちょっと一点だけなんですけど、道の駅便りにも記載をしているんですけど、実は5月11日水曜日なんですけど、
18時30分から厚田保健センター、一階の多目的ホール、いつも地域協議会をやっている場所なんですけど、そ
こで道の駅の地域説明会を開催することを計画しています。これはなぜやるかという、去年から道の駅という
ことで、いろいろ動いて、地域とかですね、いろんな団体にですね会場を設定してお話をしているんですけど、
なかなかまだ具体的なところが伝わらない、というところとか、よく分からないという声も聞こえておりますの
で、その辺も含めて、地域説明会を地域協議会が主催になってやるということ考えています。

当日は、会長・副会長に出て頂きながら、この日は市長も来るということになっておりまして、会長挨拶を頂き
ながら、市長もご挨拶して頂き、その後これまでの経過の説明、それから吉田アドバイザーからの紹介含めちょ
っとお話を頂く、それからこれまでの検討状況等を説明会の中でさせていただいて、地域の方と意見交換をして
いきたいと考えていますので、委員の皆さんにおいては都合をつけて参加をして頂きたいと思っておりますので、よろ
しくお願ひ致します。

【 佐藤会長 】

はい。ありがとうございました。

なかなか厚田区の住民たちの隅々まで、道の駅のいろんなことをお知らせするという事は、なかなか大変なんですね。道の駅便りも出していますが、これはほんの一部なんです。最も先ほど言っておりますとおり、近説遠来というのは地域の人たちが、道の駅に寄って喜んで、その喜びが遠くから来る人たちの、なんていいですか、厚田って良いところだなあ、って言うのを知らせる。いわゆる厚田の良いところを知らせる住民が一人でもいるということが、近説遠来の実現に向けて大切なんですね。

ですから、地域協議会の皆さんたちはよく分かっているということではなくて、地域の人達にも分かって頂く。そのために説明するのも大変だから、ぜひこの開催される道の駅の説明会に参加するように、是非まわり近所や自治会も含めてご連絡して頂ければと思いますので、よろしくお願いします。それでは道の駅関係よろしいでしょうか。

つぎにその他について高田課長よりお願いします。

・その他について

＊ 厚田支所地域振興課高田課長より、基本構想にもある十字街の活性化構想の一つとして、朝市の近くに仮設テントで食堂の営業を試みる動きがある、という情報を提供。

【 佐藤会長 】

しつこいようですが、道の駅の説明が5月11日です。それから、先ほど説明ありました厚田のスポーツセンターの廃止の検討についての説明会が5月の19日でございます。万障繰り合わせで皆さんご出席頂ければ、再度インフォメーションさせて頂きました。

6. 次回会議等の日程について

平成28年5月26日（木） 18：30 ～ 厚田保健センター

7. 閉会

平成28年5月26日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会
会 長 佐藤 勝彦